

= 在日米軍基地からの新型コロナ感染問題 =

国民の命と健康を守ろう

～ 運動課題を共有するオンライン交流会に参加を～

嘉手納基地でのPCR検査の様子
基地公式ツイッター



新型コロナ感染が国内で拡大されています。世界最大のコロナ感染国である米国から在日米軍基地を経由した感染が、沖縄をはじめ全国で問題化されています。この背景には、日米地位協定のもとで、米軍関係者の出入国管理が免除されているからです。また、米軍は「安全保障」を理由として感染情報の詳細を公表しないことなどがあります。在日米軍の新型コロナ感染から国民のいのちと健康を守るとりくみの現状を明らかにし、問題解決への運動課題を共有したいと考えています。

このような状況をふまえて、ZOOMによるオンライン交流会を右記の要領で行います。加盟団体、各都道府県実行員会のみなさんの積極的な参加をお願いします。

・日 時 9月2日、午後1時30分～3時30分まで

・内 容

- 〈報告①〉在日米軍基地における新型コロナ感染状況、米軍・日本政府の対応状況、外務省・防衛省交渉など中央でのとりくみの経過と到達点
- 〈報告②〉各基地の状況ととりくみ
沖縄 三沢 横田 神奈川 京都 岩国 佐世保など

〈運動の交流〉

〈まとめと提起〉

・参加について

1. 参加登録のお願い

事前に参加登録をお願いします。

参加登録をいただいた方には**8月28日**までに、オンライン会議参加のURL、ミーティングID、パスコードを送ります。

2. 参加の準備について

- (1) 報告される方は5分程度で準備をお願いします。
- (2) 報告なしの参加で、討論場面で発言することは自由にできます。

酷暑の中で宣伝行動
8月21日、新宿西口



安保破棄中央実行委員会は8月21日、酷暑の中、東京・新宿駅西口で、在日米軍からの新型コロナ対策など国民の命・暮らしを守る政治、辺野古新基地中止、日米地位協定改定、オスプレイ配備反対を求める宣伝・署名行動をおこないました。行動には安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長をはじめ、全労連、平和委員会、日本共産党の各代表の4団体から5人が参加しました。

東森氏は、在沖米軍などでコロナ感染が急増していることで、感染経路などの詳細を公表するよう訴え、辺野古新基地建設反対・日米地位協定改定を求める署名を呼びかけました。米国の核戦略に組み込まれる「敵基地攻撃能力」の保持を批判するとともに木更津への陸自オスプレイ配備反対なども訴えました。

酷暑の中で宣伝に足る人もいました。

安保宣伝
新宿駅
西口

軍拡よりコロナ・暮らし対策
辺野古基地建設・オスプレイ配備に反対

お知らせ

常任幹事会 9月9日(水)午後3時から
全労連会館 3F 全労連会議室